



## 北海道、今ここが課題 …むかい昭彦は提案します

- 「おもてなし」の意識改革で観光振興!
- ジェット化など「長期展望」で丘珠空港を活性化!
- 地域の連携で児童虐待を防ごう!
- 生活・学習習慣を改め、学力向上。断ち切れ貧困の連鎖!
- 色覚検査を啓蒙し、無くそう就職・進学の問題!
- 交通安全設備を整備し、交通事故犠牲者を減らそう!

### 道議会・第1回定例会で質問



回答内容を検討する道幹部

2月19日から3月20日までの30日間、北海道議会の平成26年第1回定例会が開かれました。総額3兆3304億5500万円余の平成26年度予算と関連する議案が審議・可決されました。

北区選出の道議会議員、むかい昭彦(民主党・道民連合)は、3月3日、一般質問に立ち、

1. 北海道観光の通年化対策
2. 丘珠空港の活性化
3. 児童虐待の未然防止
4. 基礎学力の向上
5. 色覚検査
6. 交通安全施設の整備

について課題を指摘し、提案・質問をしました。その内容と高橋知事、道の幹部の回答を2~3頁でご紹介します。



質問する向井議員

# 北海道議会 平成26年第1回定例会

## 向井昭彦の質問と道の答弁



ます。これから増える可能性を秘めたイスラム圏の観光客に対する「ハラル対応」も必要です。

### 丘珠空港の活性化

北海道の観光、ビジネスを支える航空網を充実させる上で、丘珠空港の有効活用が望まれます。道は、生活環境を守る点で地域住民の理解を得つつ、丘珠空港のジェット化に向けた議論を進め、丘珠空港活性化のための「長期展望」を示すべきです。

### 基礎学力の向上

文科省が平成25年に実施した全国学力テストで、北海道は小学校の国語と算数で全国最低レベルでした。基礎学力の向上には問題山積です。解決に向け、道民一丸となって努力しなければなりません。

さらに学習習慣、12歳児の虫歯本数、歯垢の状態、肥満傾向など、いずれも全国平均より悪く、基礎学力の向上には生活習慣、学習習慣の改善が不可欠です。一方、生活困窮のため、自治体から就学援助を受ける小中学生は4人に1人と、全国で4番目に多い。貧困の連鎖を断ち切るためにも、学力の向上を図らなければなりません。

### 児童虐待の未然防止

平成24年度、道内で児童相談所が扱った児童虐待の対応件数は1700件余りと過去最多でした。児童心理司や民生児童委員、子育てを支援するボランティアなどを活用して乳幼児を持つ親を中心に支援体制の充実を図るべきです。

そのため、児童虐待を防ぐ啓発運動「オレンジリボンキャンペーン」をはじめ、住民意識を高めるための取り組みや住民や保育所、民生児童委員など地域全体で取り組んでいくための連携が必要です。

### 色覚検査の周知

日本人男性で20人に1人、女性で500人に1人が先天性色覚異常とされます。交通、防衛関係の学校、職業で色覚の制限が残っています。平成15年以降、小学校での色覚検査は任意となりましたが、進学や就職時のトラブルを避けるために、任意で色覚検査を受けられることを各家庭に周知徹底する必要があります。

### 交通安全施設の整備

交通事故による犠牲者を減らすための事故防止に信号機や道路標識など安全施設の整備が欠かせません。財政が厳しい北海道は十分な予算が確保されていませんが、工夫した取り組みが必要です。

### 本道観光の通年化対策

北海道の観光産業は2003年以降、宿泊者数が長期的に落ち込んでいます。閑散期の宿泊者が少ないことが多くのホテルや旅館の経営を圧迫し、従業員の通年雇用、優秀な人材確保を妨げています。

閑散期の観光客を増やすためには、東南アジア諸国から観光客を受け入れる「体制づくり」を強化するべきです。

新たなイベントや国際会議の誘致、ウインタースポーツなどと豊かな食料、美しい景色や温泉を組み合わせた複合型観光メニューの開発、ホテルなど受け入れ施設のサービス向上など様々な施策が必要です。関係業界からは「通訳が少ない、食事の内容表記が不親切など受け入れ体制は不十分」との指摘もあり

# 向井議員の質問に対する道の方針(回答を要約)

## 本道観光の通年化対策

26年度は地域ならではの観光素材を発掘し、地域特性に応じたきめ細かなプロモーションを行う。外国人観光客の受け入れには26年度にそのあり方を検討するフォーラムを全道9カ所で開催、体制を充実させる。

## 丘珠空港の活性化

HACの経営安定化と安定的な運航のため、再子会社化に向けてJALと協議中。新たな路線開設やHAC以外の航空会社の誘致などにより活性化に取り組んでいく。

ジェット化は小型ジェット機によるテストフライトの結果を踏まえ、航空機騒音が環境基準を超えない範囲で飛行可能な便数を25年度内に目途をつける。

## 基礎学力の向上

指導主事が学校を訪問し、分かりやすい授業づくりを進めてきた。今後、課題が大きい地域や学校への

集中的な指導助言、各学校の数値目標の設定、地域やNPOが行う学習支援活動と連携する。

「早寝早起き朝ごはん」運動の推進や親子で取り組む生活リズムチェックシートの活用、家庭と連携した「ほっかいどう『学力・体力向上運動』」で家庭における学習習慣の改善を図る。

新たにハンドブックを作り、生活リズムチェックシートを普及させる。長期に休む場合、学習プログラムや親子プログラムを取り入れて生活習慣の改善を図るなど、保護者を中心に家庭での実践を支援する。

## 児童虐待の未然防止

市町村への技術支援や保健師、保育士、児童委員など関係職員の研修を通じ、養育支援が必要な家庭を把握し、支援する「虐待予防ケアマネジメントシステム」を市町村がさらに活用し、地域全体で子どもたちを虐待から守れるようにいつそう取り組んでいく。

児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンの周知について普及啓発に努める一方、全市町村に設置されている「要保護児童対策地域協議会」と児童相談所と

の連携を強め、技術的に指導助言し、活動を支援する。

## 色覚検査の周知

広報誌により全ての家庭に周知するほか、市町村教育委員会や学校には①学校で検査を受けられることを周知徹底する②就業規則に関する情報を提供する③プライバシーに配慮しながら支援を行う校内体制を整備することを指導する。

## 交通安全施設の整備

厳しい道財政の中で、交通事故の発生状況や交通量、道路環境を踏まえ、一時停止標識への代替えや必要性が高い箇所への移設、廃止も含め、総合的に検討しながら現有する信号機の更新を着実に進めている。

高齢者の横断時間を確保する秒数設定の見直しやイベントやシーズンによる交通量の変化に応じた信号制御など既存の交通安全施設の適切な運用も図る。



子どもたちが  
住みたいと思う  
明日の北海道を!



向井昭彦の質問に関連して

## 北海道の子どもたちは今

全国平均100に対して

### 学習習慣

家で学校の宿題を全くしていない児童

小学生 186

中学生 137

普段勉強する時間が1時間未満の児童

小学生 135

中学生 120

### 生活習慣

朝食を食べない・あまり食べない児童

小学生 146

中学生 115

睡眠時間10時間以上の児童

小学生 138

中学生 117

一日4時間以上、ゲームをする児童

小学生 144

中学生 129

一日4時間以上、テレビを見る児童

小学生 112

中学生 114

12歳児の虫歯本数

全国 1.2本

北海道 1.8本

歯垢の状態

全国小学生 3.03

本道小学生 10.77

全国中学生 5.09

本道中学生 11.87



写真で見る

# 活動報告



核抜き地層処分施設、幌延深地層研究センター(幌延町)を視察(3月26日)



道外視察で兵庫県立柏原病院に伺いました(1月29日)



民主党・道民連合の北海道選出議員団で資源エネルギー庁、国土交通省、農林水産省を訪問。原発再稼働問題、新エネルギーの導入促進、北海道と本州間の電力連系設備の強化、TPP問題、新たな農業政策、JR北海道問題、新幹線、HAC、地方交通の維持など本道が抱える課題について陳情してきました(3月24日)



JRあいの里教育大学駅前・新琴似駅前、地下鉄麻生駅前・北24条駅前の朝街頭宣伝を続けていますが、春闘勝利は街頭宣伝車から訴えました(3月14日)



産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会の道内調査で露天掘り炭鉱(三笠市)、北海道電力砂川発電所、太陽光発電メガソーラー(白糠町)、石炭坑内掘り炭鉱(釧路コールマイン)を視察(1月20～22日)



道外視察で兵庫県立総合リハビリテーションセンターに伺いました(1月30日)

## 道外調査のぞこ報告

1月下旬、道議会保健福祉委員会の道外調査に参加しました。

**兵庫県西宮市**では災害時要援護者対策で先進的な取り組みをお聞きしました。

お母さんたちが、「小児科を守る会」を立ち上げ、医師を確保した**兵庫県立柏原病院**では、他人任せではなく地域住民と行政と病院が一緒になって病院を守っていく取り組みが、何よりも大切だと感じました。

**岡山県精神科医療センター**では県立病院から独立行政法人化し、大きく経営改善した取り組みを、全国からリハビリに訪れる**兵庫県立総合リハビリテーションセンター**では最新の補助ロボットをはじめ幅広い施設、充実した人材・人材を紹介されました。

**大阪府社会福祉協議会**では施設部会が大きな力となつて基金を作り、生活困窮者の救済に当たるといふ全国に先駆けた取り組みを、**大阪知的障害者雇用促進建物サービスマニファクトリー**では知的障がいの方々の雇用を生み出すために障がい者の就労訓練を行っている取り組みをお聞きしました。

3泊4日の関西への道外視察は、どの視察先も興味深く先進的で、実りあるものとなりました。これらを北海道としてどう実践していくか、が大きな課題です。

3月7日、お陰様で49回目の誕生日を迎えました。50歳の大台まであと二年。選挙も控え、大事な一年です。充実した年にします。変わらぬご支援をお願いします。

向井昭彦



### 個人カンパのお願い

むかい昭彦の政治活動をご支援下さい。調査活動や広報・広聴活動などに、大切に活用させていただきます。

【銀行口座】北海道労働金庫  
札幌北支店(普通:5307878)  
口座名「彦(げん)の会」

【郵便振替】ゆうちょ銀行  
02770-4-100914  
口座名「彦(げん)の会」

一口1,000円よりお願いいたします。

むかい昭彦の道政報告をお届けします。お知り合いをご紹介下さい。  
電話 206-6-2661(事務所)